

平成 2 5 年

壱岐市議会定例会 9 月会議

行 政 報 告

壱 岐 市

目 次

| | |
|--|-----|
| はじめに | 1 |
| (1) 第 3 7 回全国高等学校総合文化祭 2 0 1 3 長崎しおかぜ総文祭について | 1 |
| (2) 全国離島交流中学生野球大会について | 2 |
| (3) 壱岐市庁舎建設検討委員会について | 3 |
| 交流人口の拡大 | |
| (1) 観光振興について | 3 |
| (2) 地域おこし協力隊について | 5 |
| 産業の振興 | |
| (1) 農業の振興について | 6 |
| (2) 水産業の振興について | 7 |
| (3) 商工業の振興について | 8 |
| 教育 | |
| (1) 学校教育について | 8 |
| (2) 長崎がんばらんば国体 2 0 1 4 について | 9 |
| (3) 原の辻遺跡出土品の重要文化財の指定について | 1 0 |
| 病院事業 | |
| (1) 壱岐市民病院について | 1 1 |
| 防災、消防・救急 | |
| (1) 防災、消防・救急について | 1 2 |
| 議案説明 | |
| (1) 補正予算について | 1 4 |
| (2) その他の議案について | 1 4 |
| おわりに | 1 5 |

行政報告

平成25年壱岐市議会定例会9月会議

はじめに

本日ここに、平成25年壱岐市議会定例会9月会議にあたり、前会議以降、今日までの市政の重要事項等、また今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、皆様ご承知のとおり、昨日、東京が、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地に決定いたしました。56年ぶり、2回目の開催となるこの快挙に、日本国中が感激し、胸躍らせたことと存じます。招致委員会をはじめ関係者皆様に、心からお祝いと、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。これを契機に日本全体が明るく、未来に希望を抱く社会になることを願うばかりであります。

(1) 第37回全国高等学校総合文化祭2013長崎しおかぜ総文祭について

7月31日から8月1日にかけて、全国の高校生が長崎に集う文化の祭典「第37回全国高等学校総合文化祭2013長崎しおかぜ総文祭」の郷土研究部門の発表大会が壱岐文化ホールをメイン会場に開催されました。本大会において、壱岐商業高等学校の情報

メディア部が、見事、最優秀賞に輝き、壱岐高等学校の郷土研究部が、パネル発表部門で第2位という、いずれもすばらしい成績を上げました。壱岐の名を全国に轟かせていただいたところであり、この快挙に、心からお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念するものであります。

(2)全国離島交流中学生野球大会について

8月19日から22日まで本市で開催された「国土交通大臣杯第6回全国離島交流中学生野球大会」通称「離島甲子園」は、今や離島中学生の夢舞台となり、今回は、過去最多となる22チーム総勢431名の参加を得、連日の酷暑の中、熱戦が繰り広げられました。その中を、壱岐市選抜チームは勝ち進み、決勝戦では、久米島イーグルスと対戦、大観衆の声援の中、両チーム実力を十二分に発揮する好ゲームを展開し、3対1で見事優勝を飾り、市民皆様に、勇気と元気を与えていただきました。

本大会では、全チームに対し、市民皆様の温かい声援と、おもてなしの心で接していただいたことに、多くの関係者皆様から感謝の言葉をいただきました。

大会を支えていただいた長崎県軟式野球連盟及び壱岐市軟式野球連盟の審判部の皆様をはじめ、様々な物資で支援していただいた各スポンサー、大会関係者の皆様、そして猛暑の中、大会運営にご尽力いただいた多くのスタッフの皆様に心から感謝申し上げます。

(3) 壱岐市庁舎建設検討委員会について

壱岐市庁舎建設検討委員会については、これまで、4回の会議が開催されておりますが、現庁舎の現状と課題、新庁舎建設の必要性、新庁舎整備の基本理念、新庁舎の機能及び規模等について協議が行われております。

今後、これまでの協議をさらに深めるとともに、新庁舎の建設場所、現庁舎の活用等議論が進められ、平成26年3月までに答申をいただくこととしております。

交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船とオリエントルエアブリッジの本年1月から7月までの乗降客数累計は、393,042人、対前年比100.3パーセントで、昨年と比べ僅かながら増加しております。また、一支国博物館の入館者数については、8月24日に、40万人に達し、4月から8月末までの入館者数は5万4千人を超え、年間目標入館者10万人に向けて順調に推移しております。

この一支国博物館の現在の指定管理期間が平成26年3月末に終ることから、平成26年4月から平成31年3月までの次期5年間の指定管理者について、7月24日に、指定管理候補者の選定を行いました。今回、指定管理者指定の議案を提出いたしておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

次に、県内離島4市2町による、しまへの誘客、しまでの消費促進を図るため、本年4月から、しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」の販売を実施していますが、全体で年間30億円分の販売目標に対し、7月末現在で5億538万5千円、16.8パーセントを販売しております。地域別の販売額の指標と捉えている換金額は、8月12日現在、壱岐市が1億4,419万1千円、県全体の30.2パーセントとなっております。今後もさらなる事業の周知と販売促進に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、修学旅行、教育旅行の誘致について、8月28日から29日にかけて、神戸市、大阪市内の関係先にトップセールスを行いました。修学旅行等の誘致は地域間競争が激しさを増しており、1校でも多く壱岐市への誘致ができるよう、今後も積極的に取り組んでまいります。

また、情報発信・誘客活動として、福岡都市圏のラジオ放送を活用した情報発信や長崎フェスタへの参加、8月には朝日放送のテレビ旅番組の「朝だ！生です 旅サラダ」ロケの支援を行いました。今回は俳優の田山涼成たやまりょうせいさんが壱岐の魅力を満喫される様子が、9月7日に放送されました。

テレビやラジオによる宣伝、PR効果は非常に大きいものがあり、今後も、各種番組の収録やドラマなどにおいて、壱岐市を取り上げていただけるよう働きかけを積極的に展開してまいります。

次に、外国人誘客いわゆるインバウンドの取り組みについては、現在、中国の情報雑誌撮影誘致事業を進めており、撮影隊他関係

者が昨日壱岐市入りし、本日、島内で撮影等を行っております。今後、上海市、北京市などの大都市での発刊を機にマスメディアを介しての広がりを通じ、壱岐市のPRになるものと期待しております。また、7月29日には、駐福岡大韓民国総領事館を訪問し、朴^{パク}総領事と面会し、今後の韓国からの誘客事業への協力をお願いしました。

本市の観光客数の拡大のためには、外国人誘客の推進が必要であり、東アジアを中心としたインバウンドの取り組みを積極的に行ってまいります。

(2) 地域おこし協力隊について

地域外の人材を新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図るため、本年度新規事業として取り組んでいる「地域おこし協力隊」事業については、「海女さん後継者」として合口^{あいくちかな}香菜さんを5月から、「観光振興・情報発信担当」に徳永^{とくながま}満智子^{ちこ}さんを7月から、「雑穀・古代米ブランド化支援担当」に堀田^{ほったく}九三^{みお}男^おさん、「物産振興・特産品開発担当」に二宮^{にのみや}レイ子^{れいこ}さんを8月から採用し、4業務4名の隊員がすべて決定したところであります。

現在、それぞれの分野で積極的な活動を展開され、活躍されており、今後さらに、地域や協力隊員同士とも情報を共有し連携しながら、本市の活性化に貢献していただくことを期待いたしております。

産業の振興

(1) 農業の振興について

今年はや平年より早く梅雨明けとなり、その後は高温・少雨が続き、8月後半に入り、集中豪雨が発生するなど、農作物の管理に、難しい状況が続いていると認識しております。

こうした中、本年産の葉たばこは、10月8日から収納が予定されておりますが、準備期の長雨及び立ち枯れ病の影響を受け、10アール当たり196kgの収量見込み（前年比40kg減）と伺っております。

早期水稻については、高温に強い「つや姫」は、160ha作付けされており、昨年とほぼ同じ収量（518kg）が見込まれております。

畜産については、全国的な繁殖農家の減少、口蹄疫、東日本大震災などの影響から、素牛不足による高値の取引となっております。

8月の子牛市では、平均で前回比104.79パーセントの50万7千円となり、平成20年4月以来の50万円台となっております。

しかしながら、高齢化・後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数が激減しておりますので、今後も産地維持のため、繁殖基盤の強化に努めてまいります。

有害鳥獣対策については、郷ノ浦町志原・初山地区においてイノシシ情報があり、現在、くくり罠・餌付け・センサーカメラを設置して早期捕獲にあっております。こうした中、イノシシ生息環境調査事業として、島内のイノシシ生息好適地での継続的な捕獲作業

等の基礎資料とすることを目的として、県単事業によりイノシシの生息調査を行うべく今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

また、昨年に引き続きシカの捕獲駆除を平成26年1月から実施することとしております。

次に、7月発生の農地災害については、本日大村市において机上査定が行われ、査定後は早急に事務手続等を進め復旧工事に着手してまいります。

また、平成24年度経済対策の追加補正による農業基盤整備促進事業の農道・排水路整備工事及び8月4日、5日の豪雨により農地災害が8箇所発生しており、今回、所要の予算を計上しておりますのでご審議賜りますようお願いいたします。

(2) 水産業の振興について

本年4月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年と比較いたしますと、漁獲量は1,028トンで0.08パーセントの減であり、漁獲高は9億49百万円で1.2パーセントの減となっております。こうした状況の中、7月から燃油価格高騰対策として1リットル当たり10円の補助を行っておりますので、下半期へ向けて漁獲量の増加に期待するとともに、漁家所得の増収を期待しております。

なお、漁業燃油高騰対策については、長崎県市長会において、本市が提案し、「漁業燃油高騰対策のさらなる充実を求める決議」を採

択するなど、今後も、国、県にその現状と対策を強く訴えてまいります。

今後も、非常に厳しい状況にある水産業の振興に、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

また、今回、芦辺港ターミナルビルのボーディングブリッジの改修工事及び県営事業による芦辺漁港、大島漁港、郷ノ浦港、勝本港、印通寺港の整備、改修工事の負担金等所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(3) 商工業の振興について

麦焼酎発祥の地である壱岐市の特産品で、世界的にも認められた壱岐焼酎のPRと消費拡大の観点から、壱岐焼酎での乾杯の運動を官民挙げて取り組み、さらなる普及促進を図るため、今回「壱岐焼酎による乾杯を推進する条例の制定」を提案しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

教育

(1) 学校教育について

去る6月13日に実施された長崎県学力調査の結果がまとまり、県教育委員会から公表されました。

小学校は、5年生の全児童を対象に国語と算数、中学校は、2年生の全生徒を対象に国語と数学が実施教科でありました。

その結果、県内 21 市町別の平均正答率で、壱岐市内の小学校は、国語、算数とも第 1 位の成績でありましたが、中学校は、国語、数学とも 14 位で県全体の正答率をわずかに下回っています。

小学校で注目されることは、5 年生を複式学級にもつ学校の平均正答率が、市内でも上位に位置していることであり、複式教育への不安を解消し、充実させるための各学校の取組の成果が出ているものと受け止めております。

今後、続けられるこの学力調査を、注視しながら壱岐市の児童生徒の学力向上に努めてまいります。

次に、小学校の統廃合について、7 月 8 日に第 1 回小学校統廃合検討委員会が開催され、現在までに、郷ノ浦地区検討小委員会が 2 回、勝本地区検討小委員会が 1 回、芦辺地区検討小委員会が 2 回、石田地区検討小委員会が 2 回開催され、各地区で協議が進められております。

また、芦辺中学校校舎建設に関する検討委員会については、7 月 12 日に第 1 回が開催され、協議が進められております。

(2) 長崎がんばらんば国体 2014 について

来年、本市で開催される「長崎がんばらんば国体」の成年女子ソフトボール競技と自転車競技ロードレースのリハーサル大会が開催されました。

ソフトボール競技については、8 月 3 日、4 日の両日、大谷公園、壱岐市ふれあい広場の各会場において、第 61 回西日本男子ソフト

ボール選手権長崎県大会が開催され、壱岐市の2チームを含む県内各地の代表15チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。大会2日目の準決勝、決勝は、あいにくの雨天で、中止となりましたが、本大会の関係者皆様をはじめ多くの皆様のご支援、ご協力によりまして、無事、大会を終了することができました。

また、8月25日には、本市の一般道路を使用した特設周回コースで、第48回全国都道府県対抗自転車競技大会ロードレースが、全国各地から多くの選手・監督、大会関係者が来島され、盛大に開催することができました。あいにくの雨天により、男女とも周回数を1周減らしてのレースとなりましたが、無事、大会を終了することができました。レース中は、長時間の交通規制となり、市民皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけいたしました。また、立哨員として、安全な競技運営にご協力をいただいた壱岐市消防団、各自治公民館、交通指導員の皆様をはじめ、各関係機関や市民ボランティアの皆様など、本大会に携わられた多くの皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

今回のリハーサル大会で得ました課題や関係皆様からのご指摘、ご要望について、検証を行い、来年の本大会に繋げてまいります。今後とも、「長崎がんばらんば国体」の成功に向け、市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) 原の辻遺跡出土品の重要文化財指定について

国重要文化財指定の答申がなされ、1670点の原の辻遺跡出土品が、平成25年6月19日付けで正式に指定を受けました。

指定の理由は、原の辻遺跡から出土する遺物が極めて多彩で特に外来系の遺物が目立ち、朝鮮半島と九州本土を結ぶ当時の交易及び交流の拠点的な集落の出土品として、その学術的価値の高さによるものです。

内訳は、「土器・土製品 7 1 1 点、木器・木製品 1 1 4 点、石器・石製品 4 3 0 点、ガラス製品 5 3 点、金属製品 3 1 6 点、骨角製品 4 6 点」となっております。

指定されました重要文化財については、一支国博物館において、9月6日から10月27日まで「第16回特別企画展 原の辻遺跡の全貌展」と題し、一斉公開を観覧無料で開催しております。一支国の王都である原の辻遺跡、さらに東アジアの交流史研究の一助になるものと期待され、一支国博物館の入館者数の増加に繋がるものと期待しております。

病院事業

(1) 壱岐市民病院について

壱岐市民病院については、長崎県病院企業団加入に向けて、診療機能の充実や地域連携推進に重点を置いた病院経営を進めております。

診療部門については、4月から常勤医師を基本とする外来診療体制及び当直体制の構築、二次救急医療を担う病院としての医療体制の充実を図っております。

看護部門については、看護師の専門性をより高めるため、6月か

ら赴任した、看護部長のもと、業務内容や配置の見直し、各種研修の実施、救急体制に対応できる手術部門看護師の強化など看護体制の充実に向けた取り組みを進めており、8月までに正規看護師1名、臨時看護助手5名の採用を行ったところであります。

今後も引き続き、壱岐市民病院の医療機能の底上げを進めてまいります。

患者数の動向としましては、前年比、7月までの延べ外来患者数で約6パーセント、1,700人増の29,211人、延べ在院患者数で約14パーセント、2,500人増の16,831人と堅調に推移しており、地域中核病院としての役割に応えつつあるものと考えております。

これらの取り組みについては、定期的に長崎県病院企業団に報告を行い、企業団のご指導、ご助言も受けながら進めているところであります。

防災、消防・救急

(1) 防災、消防・救急について

本市消防吏員による住居侵入の不祥事については、8月12日付けで、任命権者である消防長名で、当該職員に対し、停職6月の懲戒処分を行うとともに、管理監督者に対し訓告1名、嚴重注意1名、また壱岐市長名で消防長に対し訓告処分を行いました。なお、当該職員は同日付けで依願退職をいたしました。

日頃より、職員には綱紀肅正を強く求めていたところであります

が、このような不祥事を引き起こしたことは、全体の奉仕者たる公務員にあるまじき行為であり、市民皆様に、ここに改めて、お詫びを申し上げます。

二度とこのような事が起こらないよう、服務規律の徹底とさらなる綱紀肅正、そして、市民皆様の信頼を取り戻せるよう、職員一丸となって再発防止に全力で取り組んでまいります。

さて、今年の夏も全国的に猛暑となり、壱岐市内では高齢者を中心に、8月31日現在、25名の熱中症による患者を救急搬送しております。

最近は、少し暑さも和らいだ感がありますが、これからも残暑が続くことが予想されますので、稲刈り等屋外での作業の折りは必ず、こまめに水分、塩分の補給を行っていただきたいと思っております。

また、室内においても熱中症になることがありますので、エアコン等を有効に使用し、体調管理に注意をお願いします。

一方、去る8月24日から26日にかけて発生した集中豪雨は、1時間雨量最大で約38ミリ、降り始めからの総雨量は295ミリを記録、また、去る8月30日から31日にかけて発生した集中豪雨では、1時間雨量最大で約44ミリ、降り始めからの総雨量は249ミリを記録するなど、これまでの少雨から一転しての豪雨となりました。この豪雨による災害は、道路災害9件、河川災害2件、道路冠水2箇所、林地災害13件、農地災害71箇所となっております。幸いにも人的被害はありませんでしたが、今後さらに、道路や農地等の潜在的被害が確認されるものと考えております。

今後も、各関係機関とも十分連携を図り、災害対策には、万全を期してまいります。

次に議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出しております補正予算の概要は、

一般会計補正総額 8億2,134万円

各特別会計の補正総額 1億3,629万8千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

9億5,763万8千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

230億2,428万9千円

で、特別会計については、

104億7,516万8千円

となります。また併せて、企業会計についても、所要の補正予算を計上しております。

一般会計については、離島活性化交付金関係事業をはじめ後年度の財政健全化を図るための公債費の繰上償還5億48百万円など所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、損害賠償額の決定に関する専決処分の報告1件、平成24年度各出資法人の経営状況等に係る報告4件、平成24年度財政健全化判断比率等の報告1件、契約案

件 1 件、あらたに生じた土地の確認等の案件 1 件、条例の制定及び一部改正に係る案件 6 件、指定管理者の指定案件 2 件、予算案件 1 0 件、平成 2 4 年度各会計決算認定 1 1 件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせていただきますのでご了承願います。

何とぞ十分なお審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、今後も、様々な行政課題等に対応し、誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成 2 5 年 9 月 9 日

壱岐市長 白 川 博 一